

津久見市地域公共交通活性化協議会

平成20年3月25日設置
平成21年3月19日連携計画策定



人口
21,203人
(H21.5.)

概要

人口減少、高齢化の進展により利用者数は激減しており交通事業者の経営は逼迫している。「市民一丸となって守る地域公共交通」を基本とし、市民・行政・事業者の役割を明確にした上で、持続可能な新交通体系の構築に向け、公共交通機関の運行時刻等の一元管理、既存公共交通網の整備、観光イベント等と連携した新たな利用者獲得等を旨とする。その中で、コミバス等の実証運行、連携時刻表の作成・バスサポートアテンダント事業等の利用促進に資する事業を実施し総合的に推進していく。

○平成21年度事業

◆市中心部循環線の運行

◆半島部と中心部をピストン運行する路線バスの再編

新たに商店街を通る運行ルートを設定し、商店街の活性化に寄与する地域交通の構築・確立を行う。また前年度の調査事業の際に行ったニーズ調査より、市民及び利用者の意見を反映させ、買い物・通院の移動手段の確保及び乗継円滑化を図る。

○平成22年度事業

◆離島航路との接続連携・地域交通の乗継円滑化

◆地域住民のふれあいの場となる地域交通の構築

前年度に構築した循環線及び路線バスと離島航路の乗継円滑化を図る。離島住民の市内での買い物・通院の利便性向上のみならず、本市を訪問する観光客の移動の円滑化も図る。

またバスサポートアテンダント事業として利用者を介助する地元学生の取り組みも行い、地域住民のふれあいの場となる地域交通の構築を進めていく。

○平成23年度事業

◆中心市街地活性化に寄与する地域交通の整備・構築

◆マイカーから公共交通機関への利用転換の促進、環境負荷の低減

過去2ヵ年度で行ってきた取り組みの集大成として、中心市街地の活性化に寄与・貢献する地域交通の整備・構築を行う。津久見市ならではの地域交通を構築し、地域住民及び観光客にとって利便性の高い地域交通の確立を行う。

